

卒論を書く

つぎのステップで卒論を書いていきます。

Step1 問をたてる

どんな謎を解き明かすのかを考えましょう。あわせて参考文献も選んでおくと以下すみやかに事が運びます。問が立てられたら答えを導きます。理由も考えて、それをロジックにします。ロジックとは、

- ① AはBである
- ② BはCである
- ③ よって、AはCである

というのが有名です。このロジックは要旨や本文の結論に反映できます。

Step2 シナリオを書く

シナリオとは9マスのテンプレートにのっとりた形式です。つぎにそのシナリオをつかって作文をします。この作文はそのまま論文の「はじめに」に使えます。

Step3 本文を書く

章立ては以下のようになり、論文をひとつの物語のように考えてみるとよい。

1	はじめに	問と答を明らかにする。Step2の作文をそのままつかってもいい。
2	先行研究	〇〇によると・・・だ。スゴイだろ。
3	理由	しかし・・・の点ではどうかな？ さすがの〇〇もお手上げだろ。そこで、・・・についてだけど、・・・だから・・・なのだ。
4	結論	以上から、AはBであり、BはCであることがわかるだろ。だから、AはCなのだよ。どうだ文句あるか。
5	おわりに	結論からこんなことも応用できるぜ。どうだ文句あるか。〇〇もすごいけどもっとスゴイといってくれ。

「2 先行研究」と「2 理由」は適当な題名にかえます。5のあとに謝辞、註、参考文献、そして付録がつきます。参考文献は必須ですが、ほかはなくても必須ではありません。

シナリオ

～論文やプレゼンを9枚のスライドにまとめる～

テーマ	背景	問い
答え（結論）	理由	ツッコミ
例	自分のこと	将来の展望

この9マスをうめるとスライドや作文ができる

タイトル	近年、	この報告の目的は、
結論から言って、	なぜなら、	確かに、 しかし、
たとえば、		・・・していきたい。

この9マスのシナリオをもとに、スライドや小論文ができる。

例えば教養についてのシナリオと作文を紹介しよう。

小論文のシナリオ

2017年7月1日

〈わたし〉の二重性について ～ブーバーの哲学的視点から～	近年の難民問題が深刻化し、 今日ほど共生が必要とされている	共生は可能なのか？
結論から言えば、可能である。	なぜならば、共生を可能にする人間構造があるからである。	確かに世界では人類規模の共生の困難に直面している。しかし、だからといって不可能というわけではない。
たとえば幼子にとって共生とは努力しなければならない問題ではない。	そもそも日本で日本人は共生している。共生が難しいという前に自分のグループ内では共生ができているのである。	こうした共生を可能性にする人間構造をブーバーの哲学を検討しながら明らかにする。

〈わたし〉の二重性について ～ブーバーの哲学的視点から～

近年の難民問題が深刻化する以前にドイツのメルケル首相は、「多文化主義は失敗した」と表明し(Giglio,2010)、翌年イギリスのキャメロン首相もつづいて表明した(Heath,2012)。今日ほど共生が必要とされているのはもちろんのこと、現実を目の前にしてそもそも共生が可能なのかという疑問さえもたれている。そこで共生は可能かについて本報告は考える。

結論から言って共生は可能である。なぜならば、共生を可能にする人間構造があるからである。本論の論点はその人間構造を示すことにある。確かに世界では人類規模の共生の困難に直面している。しかし、だからといって不可能というわけではない。たとえば幼子にとって共生とは努力しなければならない問題ではない。歴史上、かつてのオスマントルコやニュージーランドのマオリ族とその後の入植者などの関係をもても、事例はある。

そもそも日本で日本人は共生している。共生が難しいという前に自分のグループ内では共生ができているのである。こうした共生を可能性にする人間構造をブーバーの哲学を検討しながら明らかにする。